



岩手のもりおかを、世界のMORIOKAへ “世界につながるまち盛岡”市民会議



盛岡の魅力、再発見!! *Rediscovering the Charm of Morioka!!*



左から ふじポンさん（司会）、畑中美耶子さん、金野万里さん、高橋大さん

10月30日（日）、“世界につながるまち盛岡”市民会議（岩山徹会長）は、市民運動の機運を高め、盛岡の魅力を発信するため、令和4年度推進イベントを開催しました。令和4年度のテーマは「盛岡の魅力、再発見!!～Rediscovering the Charm of Morioka!!～」。盛岡駅ビルフェザンを会場に、盛岡について語り合うトークセッションとパネル展示を行いました。延べ525名が来場し、私たちのまち・盛岡について改めて歴史を振り返り、新たな一面を発見し、見つめ直す機会となりました。共催者は盛岡市及び盛岡市・都南村合併30周年記念事業実行委員会。

トークセッションでは、市を中心に多方面で活躍するお三方をゲストスピーカーとしてお招きし、ふじポンさんを司会に、盛岡の魅力や市民活動について語り合いました。ゲストスピーカーとしてお越しいただいたのは、もりおか歴史文化館初代館長の畑中美耶子さん、文化地層研究会の金野万里さん、そして（株）東家専務取締役の高橋大さん。

明治23年の盛岡駅開業から平成18年の玉山村合併までのまちの変遷を振り返り、市民活動の現状や展望について語られました。畑中さんは盛岡弁の伝承活動や盛岡文士劇、金野さんは市民団体・文化地層研究会の活動や盛岡もの織り検定試験の取組み、高橋さんは盛岡馬車みち会議の活動について紹介されました。盛岡の伝統や文化を後世へとつなぎ、まちの魅力として生かしていく取組みに、来場者は興味深い様子で聞き入っていました。



パネル展示では、盛岡市・都南村合併30周年を記念したフォトコンテスト「都南の風景」受賞作品の展示、合併30周年を振り返る展示などを行われました。会場のスクリーンではテレビ都南の合併10周年記念番組が上映され、懐かしい映像や写真に、通りかかる市民らが足を止めて見入っている様子が見られました。

岩手のもりおかを、世界のMORIOKAへ。世界へとつながる、小さいながらも生き生きと光り輝く盛岡の魅力に触れる機会となりました。

“世界につながるまち盛岡”市民会議とは？

“世界につながるまち盛岡”市民会議（旧あすを築く盛岡市民運動実践協議会）は、昭和45年の第25回国民体育大会の成功に向けた市民運動の推進を図るため、昭和43年に結成されました。盛岡の魅力を国内外に発信し、盛岡の魅力を世界と共有することを目的として、次の活動を行う団体です。市民活動団体、企業、NPO法人等により構成されています。令和4年11月時点で、一般会員61団体及び協賛会員団体18団体が所属。

- 1 国内外に向けた盛岡の魅力発信
- 2 盛岡を訪れる全ての人が盛岡を快適と感じる環境づくり
- 3 市民の国際理解の推進
- 4 その他、当会の目的達成に必要な活動

“世界につながるまち盛岡”市民会議ホームページはこちら

当会の活動については、ホームページのお問い合わせフォームからお問い合わせください。

